

海外ビジネス情報



上海

2025上海モーターショーについて

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所
陳 潔

1. はじめに

2025年4月23日から5月2日の期間、第21回上海国際自動車工業展覧会（以下、2025上海モーターショー）が上海市の国家コンベンションセンターで開催されました。会場には1,366台の車両が展示され、うち新エネルギー車は7割を超え、初披露の車両が163台ありました。今回のモーターショーには国内外から約101万人が来場し、海外からは97の国と地域から6万3,000人以上が参加しました。

大盛況のうちに閉幕した2025上海モーターショーを通して、中国の自動車市場の現状についてご紹介します。



【2025上海モーターショー会場（筆者撮影）】

2. 2025上海モーターショーより

(1) 関連企業動向

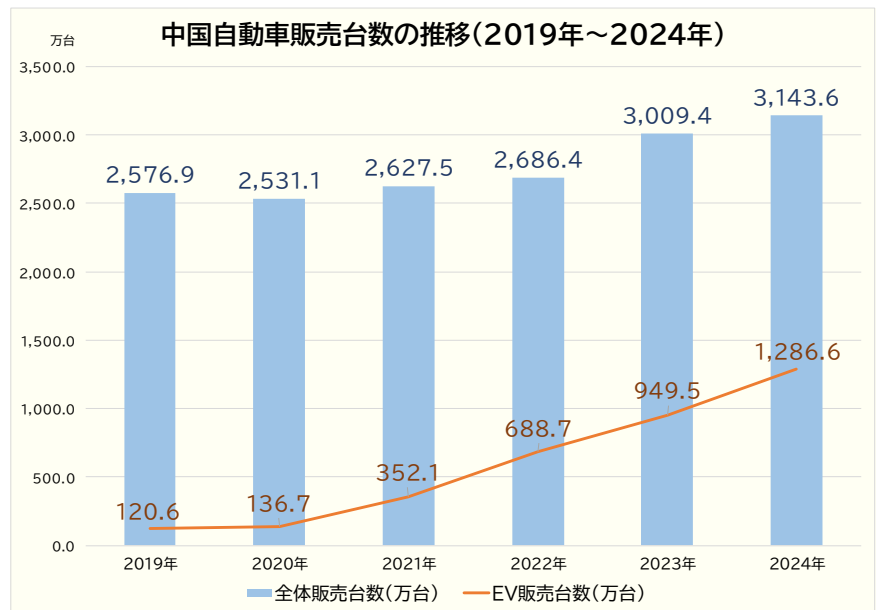
今回出展の自動車関連企業から、注目の最新動向についていくつかご紹介します。

企業名	トピックス	内容
迦南智能	EV充電器工場着工	主力はスマートメーターだが、EV向け充電器の受注増加に伴い工場新設。投資額は約4億6,600万元(約90億円)、2026年12月稼働予定、年産規模は5万台。
広州汽車集団、小鵬汽車 等	「空飛ぶ車」の登場	官民一体で「低空経済」に力を入れ、ドローンなどの商用化も急ピッチで進める中、自動車メーカーが開発した電動垂直離着陸機(eVTOL)搭載の「空飛ぶクルマ」を披露。
賽力斯集団(セレス)	高級電動SUV「問界(AITO)M8」引き渡し開始	通信機器大手のファーウェイと共同開発の高級電気自動車(EV)ブランド「問界(AITO)」シリーズの大型SUV「M8」の引き渡しを開始。
上海永茂泰汽車科技	アルミ部品製造、インドネシアに進出	初の海外生産拠点となるインドネシアにて、自動車軽量化に向けたターボチャージャー部品等の生産開始。投資額5,000万米ドル(約70億円)。
東風汽車集団	先進技術ブランド「天元智能」発表	人工知能(AI)と車載技術を融合させた先進の技術ブランド「天元智能」を正式発表。
小馬智行(ポニーAI)	ロボタクシー量産開始、日本市場も視野	トヨタ、北京汽車集団、広州汽車集団と共同開発した新たなロボタクシーを披露。最新自動走行システムを搭載し、レベル4の安全性を提供するため大規模量産を開始。

【時事速報記事より上海事務所作成】

(2) EV車の販売台数の推移

右表は、中国自動車の販売台数（輸出を含む）の推移を表しています。2024年の販売で過去最高を更新しました。販売台数全体に占めるEV車のシェアを見てみますと、2019年は約4.6%であったのが、2024年には40.9%と約9倍に成長しており、急速にEV車が普及していることが分かります。



【中国自動車工業協会のデータより上海事務所にて作成】

3. おわりに

外資大手コンサルティング会社によると、EVなど新エネルギー車の比率は2025年に約54%、2030年には77%に達すると予測されています。

プジョーやシトロエン、ジャガー・ランドローバー、ランボルギーニ、ロールス・ロイス、マセラティなど多くの海外ブランドが今回の出展を見送りました。新エネ車を得意とする中国メーカーに押され、世界の有名ブランドのいくつかは中国市場での販売実績を大幅に落とし、苦戦しているようです。EVやPHVが新車販売の主流となっている現在、中国の自動車市場は大きな転換期を迎えています。



【写真左:LEXUSブース、写真右:BYDブース(展示会会場にて、上海事務所撮影)】

<ご注意> 文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもとご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp